

えみ 笑だより



3月号

発行：小規模多機能型居宅介護事業所「笑の里」（2021.3.1）

『弥生』を迎えました。「弥」には、いよいよという意味、「生」には生い茂るという意味があり、草木がいよいよ生い茂る月という意味だそうです。昔から「春は苦いものを食べよ」と言われています。苦味のある山菜には細胞を活性化させる成分が多く含まれ、冬から春へ体も活動するための準備を始めるこの時期にふさわしい食材なのですね。

さて、笑の里ではひなまつりの準備を始めました。お内裏様は、関東地方では向かって左が男雛、右が女雛でこれが一般的ですが、京都では男雛と女雛を逆に飾るそうです。かわいいお雛様は、楽しそうに談笑されているご利用者の方々を、毎日すました顔で眺めておられます。ゆっくり近づいてくる春を感じ、ひなまつりをお祝いしましょう。



◆◆ 笑の里利用状況 ◆◆

「笑の里」では下記のとおりご利用いただいています。

利用登録 3月1日現在22人（定員25人）

男性 8人 女性 14人

要支援2人 要介護20人（平均 1.80）

ディサービス利用者 毎日 8～13人/日

宿泊サービス利用 9日/月 5人/日

訪問サービス利用者 毎日 5～7人/日

（ご利用者の状況により変動があります）

…アルバムのひとつま…

色とりどりの椿が満開の笑の里。



笑の里恒例の『豆まき』

今年も鬼たちがやってきました。

お～きな豆を投げて鬼退治！

お昼はお寿司と鰯のつみれ汁。

おやつは、各々がクレープに

果物やクリームを巻き巻き

恵方に向けてガブリ！



『バレンタインデー』

力をあわせてお昼づくり。

おいしいお好み焼きができあがり。

愉快的なゲームでワイワイと……。

そして、甘～いチョコケーキのおやつ

一日楽しく過ごしました。



今月の予定

- ひなまつり (2日・3日)
- ふれあいサロン (4日・20日)

※介護についてのご相談、お困りのことは
お気軽に「笑の里」までどうぞ……

☎ 38-0028 fax 47-7742

※緊急の場合は、080-6169-8080 まで

